

令和3年度 スポーツトレーニング教育研究センター事業計画書

スポーツトレーニング教育研究センター長 山本 正嘉

I. 年度計画・目標

1. 子供からシニアまで幅広い年代のアスリートを対象に、競技力向上に寄与できる身体組成・体力・技術等の評価法とフィードバックのシステムを開発し、実践現場での活用にも取り組む。そしてその成果を論文化し、情報発信する（アスリートドックプロジェクト）。
2. 本センターの研究協力校等と連携し、学校教育で実践可能な、体力を増進するための運動プログラムを開発し、実践する（子供貯筋プロジェクト）。

II. 事業計画（各事業の主担当者名／実施期間）

1. 研究プロジェクト

- 1) 子供～シニア選手のためのアスリートドックの実用化
 - ①本学の各種目のアスリートを対象とした研究と実践（山本／通年で実施）
 - ②高校生柔道選手（鹿児島県立鹿児島南高校）を対象とした研究と実践
（藤田／令和1年度より3年間）
 - ③高校生自転車競技選手（鹿児島県立南大隅高校）を対象とした研究と実践
（山本／令和1年度より3年間）
 - ④中学生バレーボール選手（始良市立重富中学校）を対象とした研究と実践
（藤田／令和1年度より3年間）
 - ⑤ジュニア柔道選手（福岡県柔道協会）を対象とした研究と実践（藤田／通年で実施）
 - ⑥アスリート・登山者の低酸素トレーニング法の検討と実践（山本／通年で実施）
 - ⑦ジュニアバレーボール選手（日本バレーボール協会）を対象とした研究と実践
（藤田／通年で実施）
- 2) 学校教育で実施可能な児童生徒の体力を増進するための運動プログラムの開発
 - ①小学校（鹿屋市立花岡学園）での研究（高井／令和1年度より3年間）
 - ②中学校（鹿屋市立吾平中学校）での研究（高井／令和1年度より3年間）

2. 社会連携・社会貢献関係プロジェクト

- 1) 鹿児島県と連携したスポーツ指導者への研修セミナーの開催（山本／令和4年1月）
- 2) 鹿児島国体でのコンディショニングサポート対策（藤田／平成29年度より継続）

3. その他

- スポーツカウンセリング室の運営（山本／通年で実施）
年次報告書『スポーツトレーニング科学』23巻の発行（令和4年3月に発刊予定）
『トレセンニューズレター』の発行（令和3年10月に発行予定）
研究協力校との連絡会議（令和3年9月に開催予定）

III. 予算計画（附属施設経費（スポーツトレーニング教育研究センター経費）5,027千円）

区分	金額	内訳
保守修繕費	1,804千円	保守費（定期点検含む） 修繕費（機器修理）
旅費	1,095千円	研究協力校関連
人件費	356千円	トレセン利用促進関連 カウンセリング室運営関連
消耗品費	800千円	実験用消耗品
報酬・謝金	265千円	研究協力校関連
その他	707千円	